

## 航空機離着陸時における窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）排出量

### 1 環境影響評価の項目

「飛行場及びその施設の設置又は変更の事業に係る環境影響項目並びに当該項目に係る調査、予測及び評価を合理的に行うための手法を選定するための指針、環境の保全のための措置に関する指針等を定める省令」（平成10年6月12日、運輸省令第36号）の標準項目（窒素酸化物）とする。

### 2 離着陸1回当たりの機種別排出量（kg/機）

機 種		運 用 モ ー ド				
		アイドル時	離陸時	上昇時	着陸時	合 計
ジェット	F/A-18A	0.14	1.58	1.54	2.34	5.60
	E/A-6B	0.36	0.62	0.36	0.38	1.72
プロペラ	E-2C	0.42	0.14	0.18	0.19	0.93

出典：Uneted Environmental Protection Agency, "Procedures for Emission Inventory Preparation Volume IV : Mobile Sources" (December 1992)  
当該資料のLTO標準時間を採用

### 3 年間排出量

#### (1) 米軍機（厚木から岩国へ移駐）

区分（機種）	機 数	年間飛行回数	NO <sub>x</sub> （t/年）
ジェット	53機	約 6,000回	33.60
プロペラ	4機	約 2,000回	1.86
計	57機	約 8,000回	35.46

- 注：1 ジェットの機種は、排出量が最大値のF/A-18Aを採用。  
2 年間飛行回数は、離陸・着陸を1回として換算。  
3 プロペラ機の飛行回数は、岩国飛行場に移駐するプロペラ機（E2-C）数が、厚木飛行場に配備されているプロペラ機数の約3分の1であるとの推定により算出。

#### (2) 自衛隊機（岩国から厚木へ移駐）

区分（機種）	機 数	年間飛行回数	NO <sub>x</sub> （t/年）
プロペラ	17機	約 5,000回	▲4.65

- 注：1 年間飛行回数は、厚木飛行場に移駐される航空機数が、岩国飛行場に配備されている航空機数の約半数であるとの推定により算出。  
2 厚木飛行場へ移駐される航空機が排出する窒素酸化物については分からないため、同じプロペラ機であるE-2Cの数値を使用して算出。

### 4 平成16年度における岩国地域の窒素酸化物排出量（t/年）

4,959.4（t/年）

出典：平成17年版環境白書参考資料集

## 厚木海軍飛行場における夜間着陸訓練に伴う騒音状況等（平成16年度）

- 1 訓練実施日：平成16年7月13日、14日（2日間）  
平成17年1月18日、19日、21日、22日（4日間）
- 2 訓練機種：低騒音機
- 3 騒音状況：

(1) 平成16年7月13日、14日（2日間 18:00～22:00）

(単位：回)

区分	70dB以上	80dB以上	90dB以上	100dB以上	合計
	80dB未満	90dB未満	100dB未満		
北側	0 (0.0)	17 (8.5)	54 (27.0)	3 (1.5)	74 (37.0)
南側	15 (7.5)	20 (10.0)	6 (3.0)	1 (0.5)	42 (21.0)
合計	15 (7.5)	37 (18.5)	60 (30.0)	4 (2.0)	116 (58.0)

注：( ) 書は、1日当たりの平均回数である。(以下同じ。)

(2) 平成17年1月18日、19日、21日、22日（4日間 18:00～22:00）

(単位：回)

区分	70dB以上	80dB以上	90dB以上	100dB以上	合計
	80dB未満	90dB未満	100dB未満		
北側	84 (21.0)	59 (14.8)	2 (0.5)	0 (0.0)	145 (36.3)
南側	4 (1.0)	30 (7.5)	287 (71.8)	0 (0.0)	321 (80.3)
合計	88 (22.0)	89 (22.3)	289 (72.3)	0 (0.0)	466 (116.5)

[参考：測定位置]



## 2 苦情件数

(単位：件)

区分	市	県	国	計
16/7/13.14	32	10	7	49
17/1/18.19.21.22.	41	5	5	51
計	73	15	12	100
1日当たりの件数	12.2	2.5	2.0	16.7

## 空母艦載機離着陸訓練前の厚木飛行場周辺における騒音状況等（平成16年度）

## 1 騒音状況：

(1) 平成16年6月8日～7月6日（29日間 06:00～22:00）

（参考：硫黄島における空母艦載機離着陸訓練期間は平成16年7月7日～16日）  
（単位：回）

区分	70dB以上 ～ 80dB未満	80dB以上 ～ 90dB未満	90dB以上 ～ 100dB未満	100dB以上	合計
北側	671 (23.1)	630 (21.7)	1,484 (51.2)	647 (22.3)	3,432 (118.3)
南側	854 (29.4)	995 (34.3)	399 (13.8)	549 (18.9)	2,797 (96.4)
合計	1,525 (52.6)	1,625 (56.0)	1,883 (64.9)	1,196 (41.2)	6,229 (215.0)

注：（ ）書は、1日当たりの平均回数である。（以下同じ。）

(2) 平成16年12月19日～平成17年1月17日（30日間 06:00～22:00）

（参考：硫黄島における空母艦載機離着陸訓練期間は平成17年1月18日～23日）  
（単位：回）

区分	70dB以上 ～ 80dB未満	80dB以上 ～ 90dB未満	90dB以上 ～ 100dB未満	100dB以上	合計
北側	487 (16.2)	686 (22.9)	693 (23.1)	764 (25.5)	2,630 (87.7)
南側	506 (16.9)	695 (23.2)	719 (24.0)	735 (24.5)	2,655 (88.5)
合計	993 (33.1)	1,381 (46.0)	1,412 (47.1)	1,499 (50.0)	5,285 (176.2)

[参考：測定位置]



## 2 苦情件数

（単位：件）

区分	自治体注	国	計
16/6/8～7/6	939	115	1,054
16/12/19～17/1/17	335	69	404
計	1,274	184	1,458
1日当たりの件数	21.6	3.1	24.7

注) 自治体の内訳は、属表のとおり

### 苦情件数（県・市町村別）

（単位：件）

	大和市	綾瀬市	藤沢市	相模原市	海老名市	座間市	横浜市	町田市	その他	神奈川県	計
平成16年6月8日 ～ 平成16年7月6日	342	64	169	134	23	74	9	64	9	51	939
平成16年12月19日 ～ 平成17年1月17日	111	54	30	35	11	32	5	16	10	31	335
計	453	118	199	169	34	106	14	80	19	82	1,274
1日当たりの件数	7.7	2.0	3.4	2.9	0.6	1.8	0.2	1.4	0.3	1.4	21.6

在日米軍の空母艦載機離発着訓練（FCLP）の実施状況について

平. 17. 11. 1. 現在

年度	硫黄島			厚木			横田			三沢			岩国		
	訓練日数	訓練回数	機種	訓練日数	訓練回数	機種	訓練日数	訓練回数	機種	訓練日数	訓練回数	機種	訓練日数	訓練回数	機種
平3	10	990	F-14等	51	2,730	FA-18等	20	1,300	E-2等	10	260	FA-18等	21	1,090	FA-18等
4	8	1,540	F-14等	28	1,430	FA-18等	20	1,310	E-2等	5	220	FA-18等	11	650	FA-18等
5	16	2,900	F-14等	14	850	FA-18等	15	1,030	E-2等	3	30	FA-18等	4	270	FA-18等
6	20	3,750	F-14等	12	480	S-3等	8	440	E-2等	0	0	—	0	0	—
7	22	3,570	F-14等	4	60	S-3等	3	210	E-2等	2	20	ES-3	0	0	—
8	20	3,010	F-14等	8	150	S-3等	6	300	E-2等	4	60	ES-3	0	0	—
9	9	1,280	F-14等	9	460	S-3等	4	470	E-2	2	40	ES-3	5	760	FA-18等
10	20	3,630	F-14等	4	80	S-3等	1	80	E-2等	0	0	—	0	0	—
11	6	1,210	F-14等	10	660	S-3等	3	290	E-2等	0	0	—	5	280	FA-18等
12	14	1,840	F-14等	8	360	FA-18等	5	490	E-2等	3	190	FA-18等	2	240	FA-18
13	14	1,950	F-14等	3	110	S-3等	0	0	—	0	0	—	0	0	—
14	15	2,210	F-14等	4	110	S-3等	0	0	—	0	0	—	0	0	—
15	16	2,590	F-14等	2	40	S-3等	0	0	—	0	0	—	0	0	—
16	14	2,180	FA-18等	6	370	S-3等	0	0	—	0	0	—	0	0	—
17	17	2,670	FA-18等	5	150	E-2等	0	0	—	0	0	—	0	0	—
合計	221	35,320		168	8,040		85	5,920		29	820		48	3,290	
全体		53,390													

注：1 訓練回数及び機種は、防衛施設局職員等が現地において目視したもので、計数は概数である。

2 硫黄島については、平成3年から訓練を実施している。